煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集＊渡部
TEL 046-223-0110

令和２年交通死亡事故抑止総合対策の推進

◎　令和２年交通死亡事故抑止総合対策

令和２年は、交通死亡事故抑止総合対策として
○高齢者と子供の事故防止対策
○二輪車事故防止対策
○自転車事故防止対策
○横断歩行者対策
の４つの対策と
○　踏切事故
○　あおり運転
の２つの課題について取組を強化します。

◎　各対策の概要
○　高齢者と子供の事故防止対策
○　二輪車事故防止対策
○　自転車事故防止対策
○　横断歩行者対策
○　踏切事故対策
○　あおり運転対策

全国的に「あおり運転を許さない」という機運が醸成されているものの、依然として多くのあおり運転が敢行されています。

その中には、傷害事件や人身交通事故に発展するケースも見られ、県民の道路交通における安全・安心を確保するためにも早急な取組が必要です。そこで県警察では、車間距離不保持、進路変更禁止違反等あおり運転に直結する各種交通違反の交通指導取締りを強化していきます。

１月10日は「110番の日」
～正しい１１０番通報にご協力を～

◎　一一〇番は緊急電話
一一〇番は、事件・事故等を警察へ通報する緊急通報手段です。急を要さない相談や各種照会等は、最寄りの警察署又は警察総合相談電話（電話番号０４５-６６４-９１１０）にお問い合わせください。

◎　一一〇番通報　６つのポイント
もし、事件や事故に遭ってしまったり、目撃されたりすると、どなたでも気が動転してしまいますが、「いち（１）はやく、いそ（１）がずあわてず、れい（０）せいに」電話番号「１-１-０」（一一〇番）をプッシュしてください。

○一一〇番センターの警察官は、順を追って次のことをお尋ねします。

４３２１　何がありましたか？（事件名）
どこですか？（発生時間、発生場所、目標物）
犯人の使った車、人相は？（逃走手段、方向、犯人の特徴）
今どうなってますか？（状況）
６５　あなたのお名前を教えてください。

このほか事件や事故の内容により、さらに詳しくお尋ねすることがあります。一一〇番を受けてから、一一〇番センターでは皆さんから急行するパトカーやパトロール中の警察官には、現場に最近いる間にも、現場の警察官をもさせています。

事　件　記　録　板

１１月中旬から１２月中旬までの事件は、
侵入盗などの事件の発生はありませんでした。

・　先月号で農機や工具などの盗難の発生をお知らせしていますが、中古の工具や電動工具、バッテリー、草刈り機、農機具等の販売する店舗があり、こうした店舗が買入れをしている事から転売目的での窃盗と思われます。今後も連続発生する事が予想されます。庭や車庫等に放置する事なく、家で保管するか、鍵の掛かるロッカー等に保管するなど、盗難防止に心掛けてください。
・　オレオレ詐欺等の特殊詐欺についても引き続きご注意願います。

駐在所の独り言　～命を守るために、心を通わせる事の大切さを改めて痛感！！～

昨年は、過去にないほど風水害に見舞われた１年でした。台風１９号は、特に多くの風水害が発生し、その一つに東京都世田谷区の二子玉川駅（通称にこたま）周辺では、多摩川の水位が上昇し、堤防を乗り越えて氾濫し住宅や交通機関などの浸水もあり、死者も出るなど、多くの被害がありました。私自身、過去に高津警察署に勤務していましたので、二子玉川駅周辺には、何度も警ら中に立ち寄った事もありますし、警視庁の玉川警察署員とも常に連携し飲食会も開催し情報交換していましたから、とてもショックを受けたところです。高津区側から多摩川に架かる二子橋（橋長４４０ｍ、幅員１１ｍ）を渡たり、二子玉川駅周辺の警視庁玉川警察署管内に入ると、突然街並みが変わり、おしゃれな低層階の建物が多く、映画の舞台に舞い込んだような錯覚をおこすほど綺麗な街並みなんです。こんな街に住める人は、どんな人で、どれだけ幸せなんだろう、なんて思っていた事を思い出しました。ところがこの穏やかな街が、この氾濫があってから、天災じゃなくて人災ではないかとネットで炎上しています。その理由は、二子玉川駅の南西側に約５００メートルにわたって多摩川の堤防が整備されていない部分があって、そこから川の水が流れ込んだようです。しかも東京２３区のハザードマップの浸水想定図とほぼ一致もしていたという。つまり事故は、想定出来た事故ということで、人災じゃないかという意見が出たようです。整備されなかった理由は、堤防で街を守って欲しいという意見がある反面、景観が楽しめない、川が見たい、バードウオッチングがしたいなどの意見で堤防建設の反対運動があったからでは？との指摘があります。実際、国土交通省と住民と遣り取りがあったのか分かりませんが、こうした理由が原因で未整備となり被害に繋がったとすれば、残念ですね。因みに亡くなった高齢男性は、プードルとウサギを飼っていて、避難所に行ったらアレルギーを持ってる人もいるかもしれないからと避難所にはお世話になれないと、そんな遠慮をした事が、亡くなられた要因の一つにもなったようです。こうした人命に関わる問題には、如何に危機意識を持つか、迅速に解決するか、その為には、個々に人々が心を通わせ、互いに優しい気持ちで譲り合う事がいかに大切かを改めて実感しました。同時にこうした問題があった時に、今まで何の関わりもなく何にも関心がない人が、被害の結果を以て、鬼の首を捕ったかのように炎上させ、非難の声を上げるという、いたずらに煽る無責任な意見には、違和感も感じました。今年は、皆さんにとって事故のない良い年になればと願っています。宜しくお願い致します。